

平成30年12月11日

長期療養者就職支援担当者連絡協議会

四国がんセンターの取り組み



独立行政法人国立病院機構四国がんセンター
患者家族総合支援センター

灘野成人

がん患者の就労支援対策

開始年	事業名等	内容
2012年	第2期がん対策推進基本計画	重点的に取り組むべき課題に「働く世代や小児へのがん対策」、分野別施策では「がん患者の就労を含めた社会的な問題への対応」を追加
2013年	がん患者の就労に関する総合支援事業	がん患者が抱える就労に関する問題をくみ上げ、就労に関する適切な情報提供と相談支援を行うことを目的とし、がん相談支援センター等に就労に関する専門家を配置する相談体制の整備
2013年	長期にわたる治療等が必要な疾病を持つ求職者に対する就職支援モデル事業	全国5か所のハローワークが、がん診療連携拠点病院と連携し、長期にわたる治療等で離職を余儀なくされた求職者に対し就労支援を実施。 2016年からは全国展開している。
2014年	がん診療連携拠点病院の整備に関する指針（改正）	がん相談支援センターの業務として就労相談が位置づけられる。
2015年	がん対策加速化プラン	拠点病院における仕事の継続を重視した相談支援の実施
2016年	事業場における治療と職業生活の両立支援のガイドライン	企業における、環境整備や個別の両立支援実施のためのガイドライン
2017年	両立支援コーディネーター養成研修開始	主治医と会社の連携の中核となり、患者に寄り添いながら、個々の患者ごとの治療・仕事の両立に向けた治療と仕事両立プランの作成支援などを行う両立支援コーディネーターを育成・配置
2018年	診療報酬改定/療養・就労両立支援指導料新設 両立支援コーディネーター養成	療養・就労両立支援指導料新設に伴い、がん診療連携拠点病院向け両立支援コーディネーターを育成・配置

第3期がん対策推進基本計画(概要)

第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③算盤を持って安心して暮らせる社会の構築

第2 分野別施策

1. がん予防

- (1)がんの1次予防(※)
- (2)がんの早期発見、がん検診(2次予防)

(※)受動喫煙に関する目標値等については、受動喫煙対策に係る法案を踏まえて別途閣議決定する予定。

2. がん医療の充実

- (1)がんゲノム医療
- (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (3)チーム医療
- (4)がんのリハビリテーション
- (5)支持療法
- (6)希少がん、難治性がん(それぞれのがんの特性に応じた対策)
- (7)小児がん、AYA(※)世代のがん、高齢者のがん(※)Adolescent and Young Adult: 思春期と若年成人
- (8)病理診断
- (9)がん登録
- (10)医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組

3. がんとの共生

- (1)がんと診断された時からの緩和ケア
- (2)相談支援、情報提供
- (3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5)ライフステージに応じたがん対策

4. これを支える基盤の整備

- (1)がん研究
- (2)人材育成
- (3)がん教育、普及啓発

第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1. 関係者等の連携協力の更なる強化
- 2. 都道府県による計画の策定
- 3. がん患者を含めた国民の努力
- 4. 患者団体等との協力
- 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 6. 目標の達成状況の把握
- 7. 基本計画の見直し

がん相談支援センターにおける就労に関する相談対応 がん相談支援センターについて

【受付時間】 8時30分～17時15分 (土曜日・日曜日・祝日除く)

【相談形式】 対面相談・電話相談

【対象】 がん患者さん、ご家族、一般の方、医療関係者など

【相談にあたる職種】

看護師

医療ソーシャルワーカー(がん専門相談員)

【相談の内容と対応例】

がん治療や検査、症状、副作用についての対応や情報提供

告知後の不安や漠然とした不安等への心理的サポート

主治医やスタッフとの関係性の調整

経済的な相談の対応

介護や障害に対する保障制度の説明

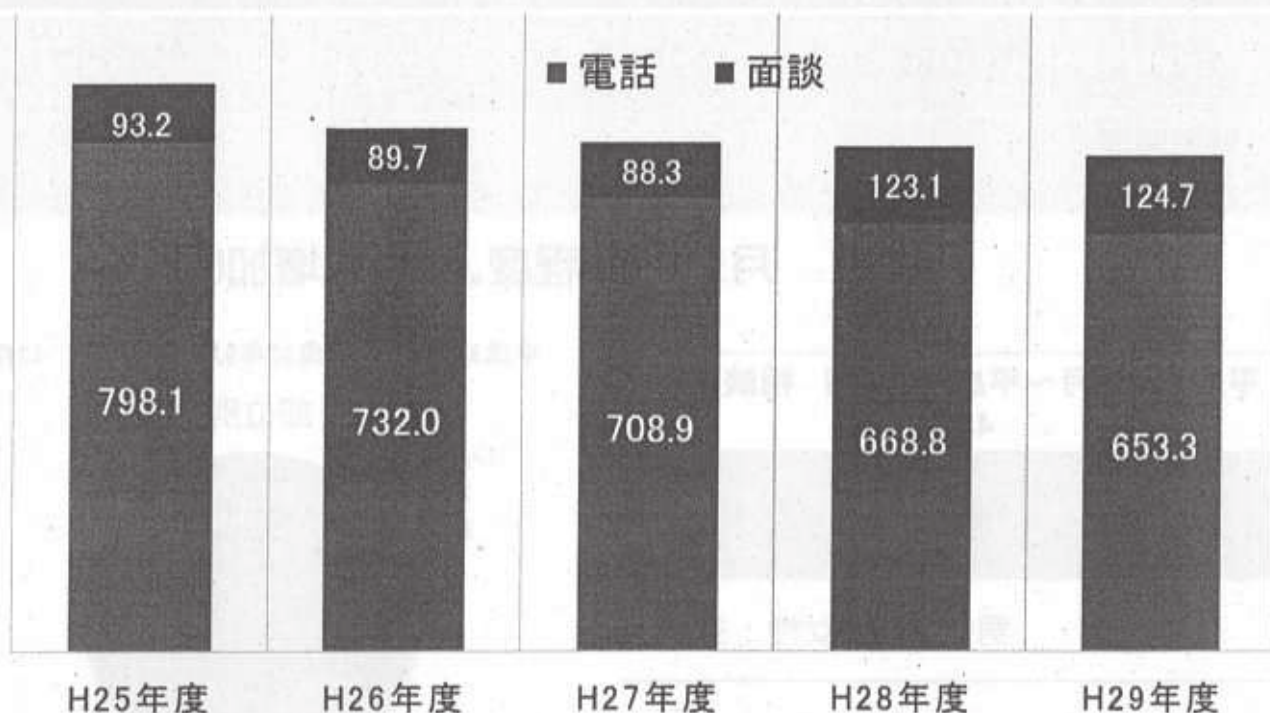
職場との関係や休職、復職等の就労に関する支援

がんに関するあらゆる相談に対応

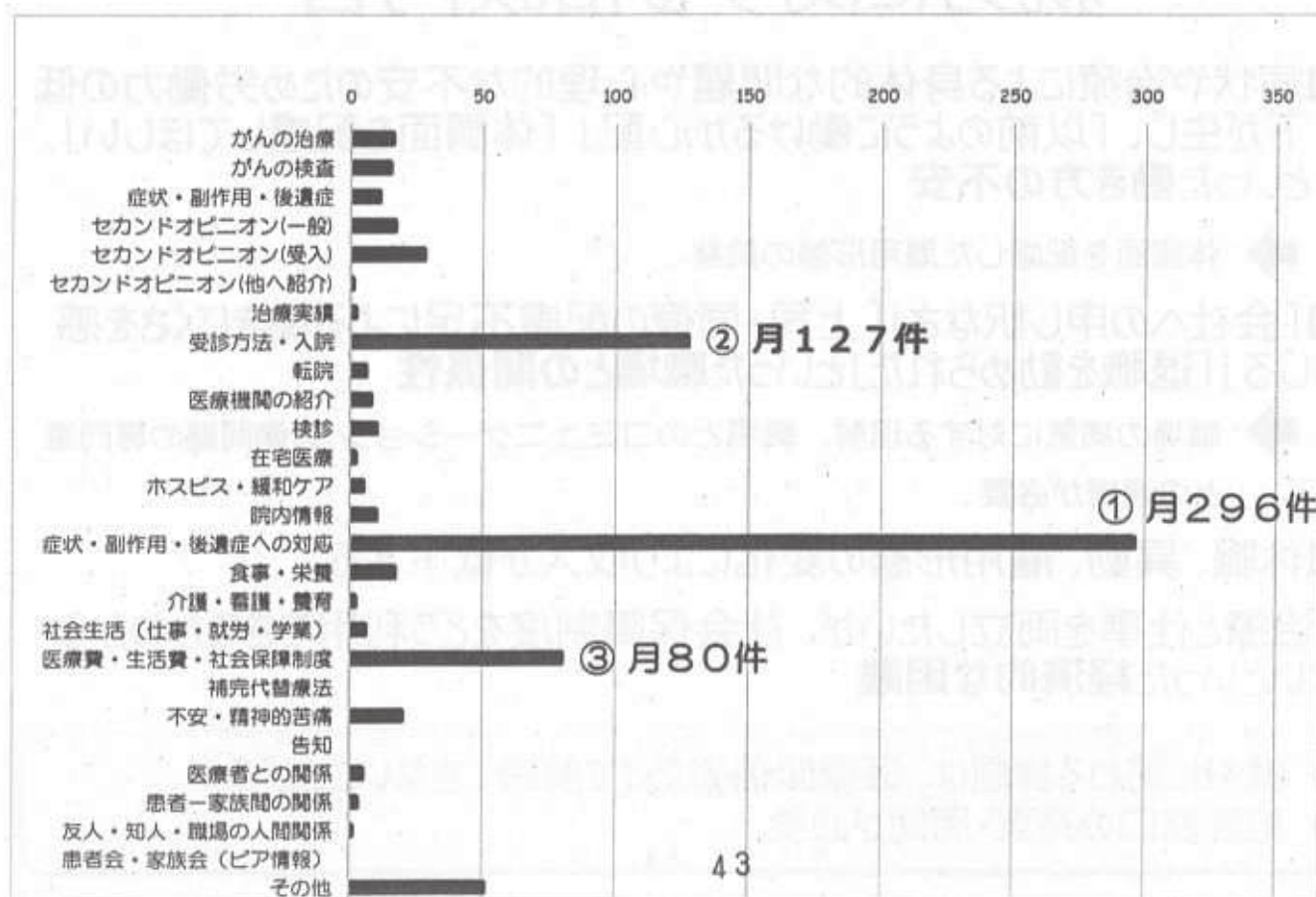
その他にも
臨床心理士
認定遺伝カウンセラー等が
対応



月平均 相談件数 年度推移



平成29年度 月平均 相談内容の内訳



がん相談支援センターにおける就労相談実績

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年 (4月～9月)
全体の 相談件数	9566	9502	9335	4637
就労関連 (件数)	38	42	51	42

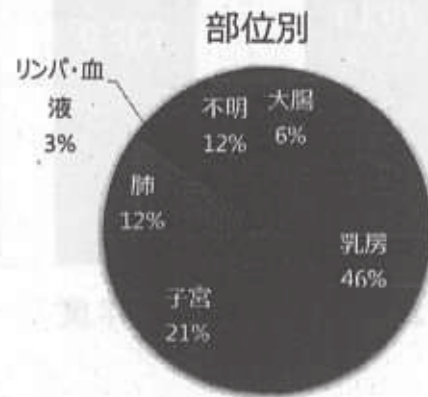
月5～6件程度。徐々に増加している

平成30年4月～平成30年9月 相談件数
42件

相談方法 面談：29 電話：13

性別 男性：9 女性：33

平成30年4月～平成30年9月 相談件数 42件



就労に関する相談内容

□病状や治療による身体的な問題や心理的な不安のため労働力の低下が生じ、「以前のように働けるか心配」「体調面を配慮してほしい」といった働き方の不安

➡ 体調面を配慮した雇用形態の調整

□「会社への申し訳なさ」「上司・同僚の配慮不足による働きにくさを感じる」「退職を勧められた」といった職場との関係性

➡ 職場の病気に対する理解、職場とのコミュニケーション、労働問題の専門家との連携が必要

□休職、異動、雇用形態の変化により収入が低下する

治療と仕事を両立したいが、社会保障制度をどう利用できるかわからないといった経済的な困難

- 就労に関わる課題は、医療関係者だけで解決できないことが多い
- 相談窓口の充実・周知が必要

患者説明用紙を配布

▼両立支援介入開始時に使用する。

がん相談支援センターでMSW・看護師が説明を行い、説明用紙を手渡す。



【説明の様子】



この説明用紙を用いて説明

産業医・企業との連携に向けて

診断書様式の作成

▼主治医から産業医・企業への情報提供に使用する。

記載内容を主治医から患者本人へ説明し、同意を取得する。

四国がんセンター

患者さんの就業状況によって使い分けることで、個々の状況にあった意見書を作成する。

復職時に使用	就業継続時に使用

- ①勤務状況の提出
(労働者が企業に報告のうえ「勤務情報提供書」を主治医へ提供)
- ②主治医意見書の提出
(就業上の配慮)
患者の同意のもと作成
- ③両立支援プランの作成
(主治医に助言)
就業の可否、就業上の措置、通院への配慮等決定
- ④産業医に報告
(治療計画)

産業医、労務担当者

項目	内容
就業状況	
就業上の配慮	
両立支援プラン	
産業医への報告	

患者・家族総合支援センター 暖だんについて



第2次愛媛県地域医療再生計画に基づき患者・家族総合支援センター整備事業（平成26年度より「愛媛県在宅がん医療推進事業」）を展開する目的で設立

事業内容

- ・ がん患者とその家族を支援します
- ・ がんの医療介護福祉に携わる人々を支援します

がんになっても安心して暮らしていける地域社会の実現

- 1) がん患者・家族、医療関係者が集える場の提供
- 2) がん関連情報の集約と発信
- 3) がんサロンの質の向上
- 4) がん患者を家族に持つ子どもの支援
- 5) がんに関する就労支援
- 6) がん患者の外見関連支援
- 7) がん患者および家族（パートナー）の性（セクシュアリティ）に関する支援
- 8) 緩和ケア
- 9) がん登録



厚生労働省事業

1) 長期療養者就職支援事業

【目的】

ハローワークががん診療連携拠点病院等と連携し、がん、肝炎、糖尿病等の疾病により、長期にわたる治療等のために離職を余儀なくされたがん患者等に対する就職支援事業を実施し、がん患者等の就職支援に関するノウハウ・知見の蓄積を図る。（平成25年にモデル事業として全国5都県で開始し、平成28年度に本事業に移行。現在は全国47都道府県で実施）

【愛媛県の場合】

平成25年7月から開始

ハローワーク松山で就職支援ナビゲーターが無料で相談を受けている

【四国がんセンターでの就職・転職に関する相談】

- ハローワーク松山の就職支援ナビゲーターが出張相談を実施
- 毎週水曜日10:00～15:00
※相談所要時間
初回相談・・・1時間程度
1回目以降・・・30分程度
- 原則予約制

～がん患者さん、ご家族の方へ～
仕事を辞める前に必ず相談を!!
～治療中の患者の方について一緒に考えていただきます～
四国がんセンターは、がん患者さん（ご家族の方）をサポートしています。

相談日時
※月曜日、水曜日、金曜日（祝祭日を除く）
※月曜日、水曜日、金曜日（祝祭日を除く）
※月曜日、水曜日、金曜日（祝祭日を除く）

相談場所
※月曜日、水曜日、金曜日（祝祭日を除く）
※月曜日、水曜日、金曜日（祝祭日を除く）
※月曜日、水曜日、金曜日（祝祭日を除く）

お問い合わせ先
四国がんセンター がん相談支援センター 089-600-1114 (直通)
FAX 089-600-1115
相談時間 平日 9:00～17:00

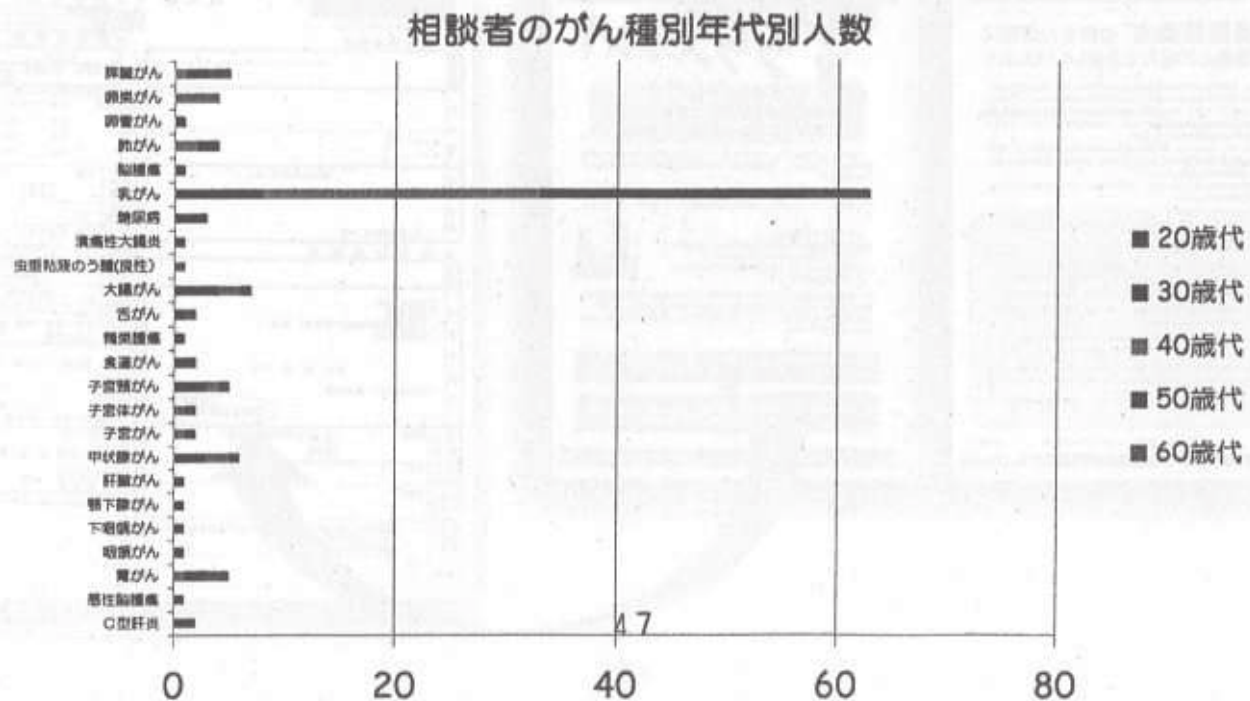
ハローワーク松山の就職支援ナビゲーター が出張相談を実施

- 対 象：患者、家族
- 場 所：患者・家族総合支援センター暖だん
- 相談日時：毎週水曜日10：00～15：00
- 相談時間：30分から1時間
- 原則予約制

就職支援事業の実績①

暖だん内での出張相談（平25年7月～平成30年3月31日現在）

- 相談者数：述べ 232名
- 就職者数：58名



就職支援事業の実績②

暖だん内での出張相談（平成30年4月1日～平成30年10月31日現在）

- 相談回数：31回
- 相談者数：延べ 50名
- 就職者数：6名

	H29年度	H30年4月1日～10月31日
相談回数	49回	31回
相談延べ人数	54人	50人
相談日1日あたりの相談者数	1.1人	1.6人

ハローワーク松山の支援活動

ハローワーク松山では、長期療養者が働きやすい環境作りを目指し、事業所に理解と協力を呼びかけています。

“長期療養者”の方々の就職にご理解とご協力をお願いいたします

近年、長寿化の進歩に伴って高齢者の就業機会が増え、社会の活性化や高齢者の生活の充実を促進するために、高齢者の就業支援が求められています。ハローワーク松山では、高齢者の就業支援を目的として、就業支援センター（就業支援センター）を設置し、就業支援活動を行っています。

～ハローワーク松山による就業支援活動～

- ナビゲーションサービスを提供しています。
- 就業支援センター（就業支援センター）を設置し、就業支援活動を行っています。
- 就業支援センター（就業支援センター）を設置し、就業支援活動を行っています。
- 就業支援センター（就業支援センター）を設置し、就業支援活動を行っています。
- 就業支援センター（就業支援センター）を設置し、就業支援活動を行っています。

この求人にプラスワン

事業主の皆様！
仕事と出展の両立ができる求人にご理解とご協力をお願いします。

ハローワーク松山では、ご自身の仕事と並行して、長期療養者の就業支援活動を行っています。ご自身の仕事と並行して、長期療養者の就業支援活動を行っています。

ご自身の仕事と並行して、長期療養者の就業支援活動を行っています。ご自身の仕事と並行して、長期療養者の就業支援活動を行っています。

求人票 (フルタイム)

求人番号: 17010-2386/101
求人種別: 1 求人種別番号
5 労働条件等

求職者の応募

○ 就業支援
- 就業支援
- 就業支援
- 就業支援

※ 就業支援センター（就業支援センター）を設置し、就業支援活動を行っています。

厚生労働省事業

2) 産業保健総合支援センターにおける両立支援事業

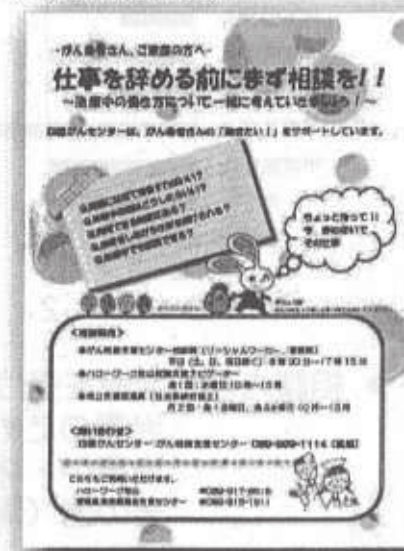
【両立支援相談窓口等での相談対応(出張相談)】

医療機関等に設置される相談窓口で、がんなどの患者(労働者)、事業者(企業)、人事労務担当者、産業医、保健師等産業保健スタッフからの両立支援に関する相談に対応する。

※厚生労働省から平成28年2月23日に公表された『事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』の示すところにより、産業保健総合支援センターに両立支援促進員を配置。

【四国がんセンターでの出張相談】

- 平成28年9月から開始
- 愛媛産業保健総合支援センターの両立支援促進員(社労士)が出張相談を実施
- 毎月第3水曜日10:00~13:00
- 相談時間:30分から1時間
- 原則予約制



NHO労働者健康安全機構における両立支援事業

愛媛産業保健総合支援センターの両立支援促進員(社会保険労務士)が出張相談を実施

- 対象:患者(労働者)、家族、事業者
- 場所:患者・家族総合支援センター暖だん
- 相談日時:毎月第3水曜日10:00~13:00
毎月第1金曜日10:00~13:00
- 相談時間:30分から1時間
- 原則予約制

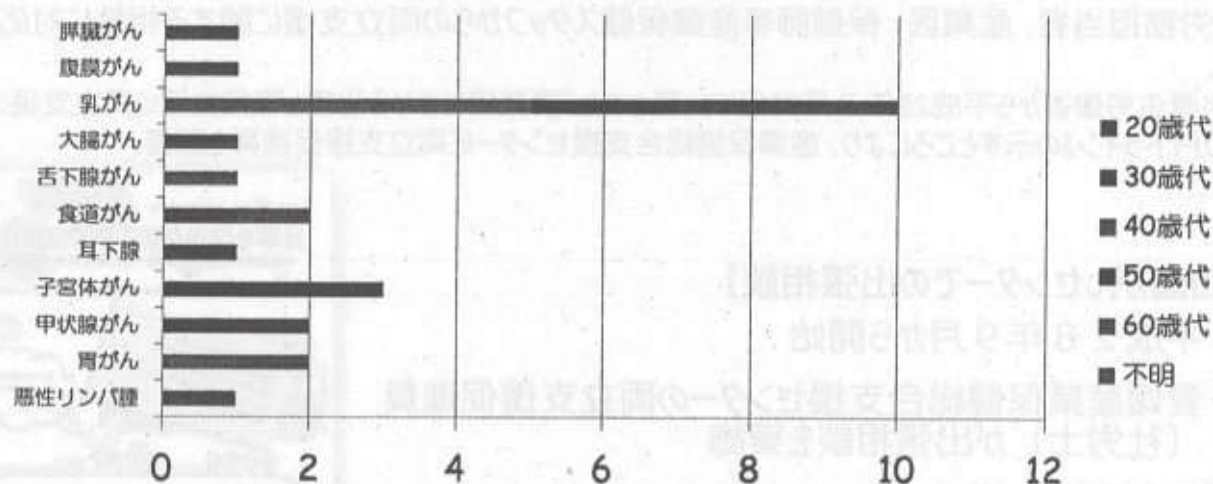
2018年4月~
相談日が追加

就労支援事業の実績①

暖だんでの出張相談（平成28年9月～平成30年3月31日）

- 相談者数：述べ 23名（社労士による電話相談2件を含む）

相談者のがん種別年代別人数



- 相談内容：治療を受けながら働きたい
治療のための休み方を知りたい
治療中・休職中の保障について聞きたい（傷病手当金）
その他（障害年金、職場への報告方法など）



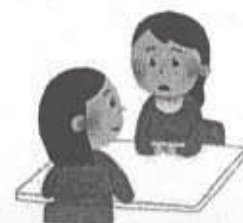
就労支援事業の実績②

暖だんでの出張相談（平成30年4月1日～平成30年10月31日）

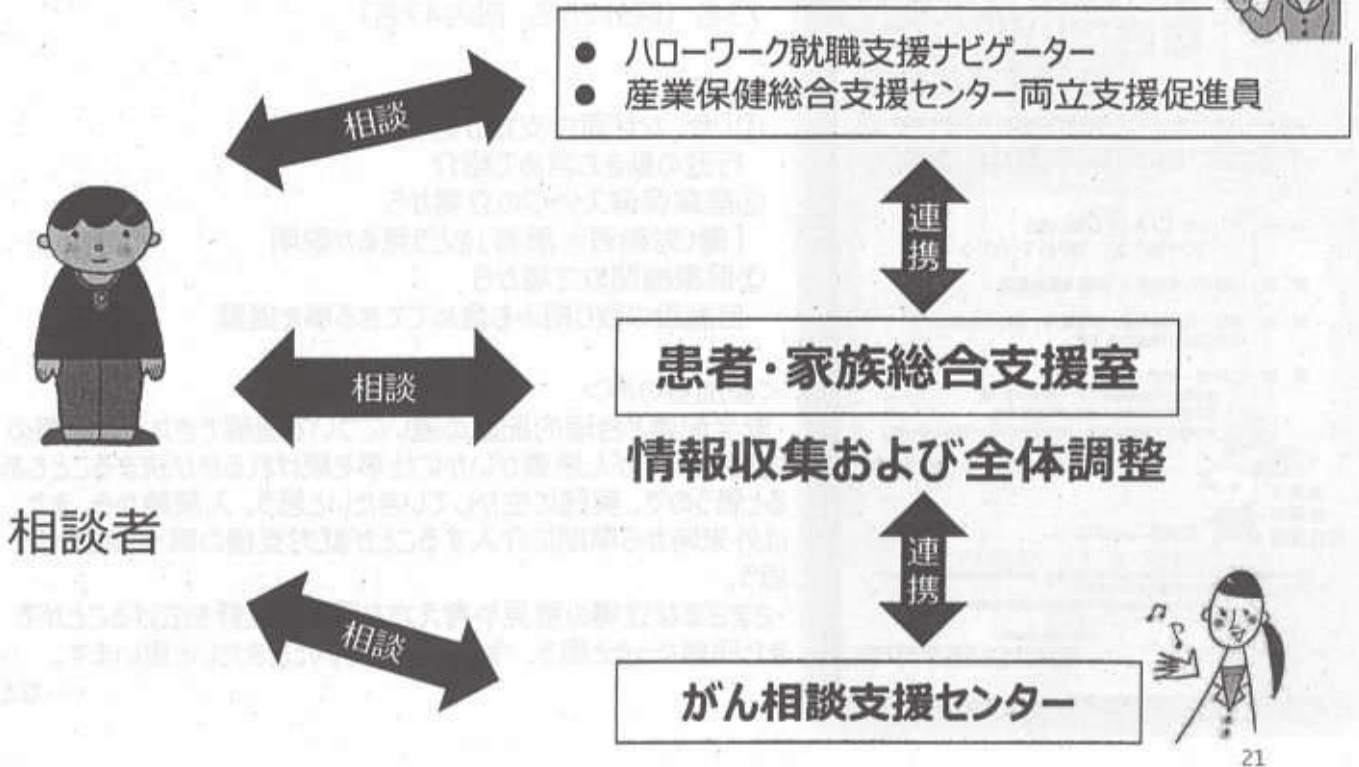
- 相談回数：13回
- 相談者数：延べ 18名

	H29年度	H30年4月1日～10月31日
相談回数	11回	13回
相談延べ人数	12人	18人
相談日1日あたりの相談者数	1.1人	1.4人

- 相談内容：治療中、休職中の補償について聞きたい（傷病手当金等）
退職後の保険関係について知りたい
治療を受けながら働きたい
職場と上司・同僚との関係について

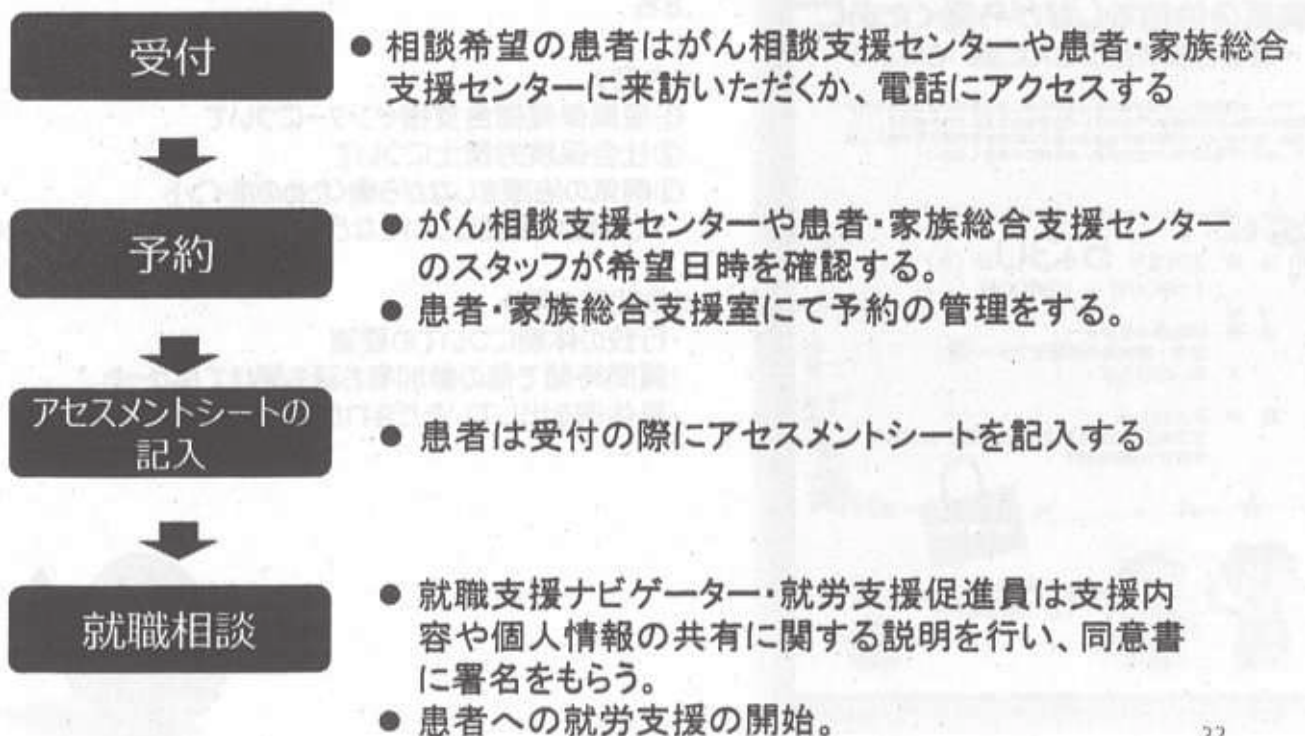


ハローワーク・産業保健総合支援センターとの連携による就職支援体制




21

四国がんセンターでの 就職相談・就労相談の流れ



就労関連企画（医療関係者向け）



**がん患者さんの
“働きたい!!”
を支えるために**

現在、がん患者さんの3人に1人が働く世代に当たり、就労機会の確保がクローズアップされています。
働く世代のがん患者さんの病気を治しながら仕事をすると不安を感じることで、支援方法についてどのような学習の機会を必要とするかについてお話しします。

日時：2018年 5月25日（金）
17:30～18:30（受付17:00～）

場所：西国がんセンター 本館3階研修室

対象：医療・企業関係者、患者さん・そのご家族
就労支援に興味のある方

講師：立石 貴一郎氏
産業保健総合支援センター 副センター長
西国がんセンター 副センター長
産業保健総合支援センター 副センター長
産業保健総合支援センター 副センター長

※当日参加可、参加費無料

治療と
仕事の
両立支援

TEL: 099-999-1209

<参加人数>

73名（院外26名、院内47名）

<内容>


- ①「今、なぜ両立支援が必要なのか」
行政の動きも含めて紹介
- ②産業保健スタッフの立場から
「働く労働者＝患者」をどう見るか説明
- ③医療機関の立場から
自施設の取り組みも含めてできる事を提案

<参加者の声>

- ・安全配慮と合理的配慮の違いについて理解できた。意見書の内容により、がん患者がいかに仕事を続けられるかが決まることあると思うので、実践に生かしていきたいと思う。入院時から、または外来時から早期に介入することが就労支援の第一歩となると思う。
- ・さまざまな立場の意見や考え方を吸収し視野を広げることができた研修だったと思う。今後も機会をいただきたいと思います。

・・・など

就労関連企画（患者・家族向け）



がんの仕事

**病気の治療をしながら働くために
～社会保険労務士さんについてみよう～**

“がん”と診断され、仕事を続けることに不安になったことはありませんか？
家族や周囲の力を得ながら自分らしく仕事を続けることは大切です。
今回、治療をしながら働き続けるために役立つ情報を専門家からお話しします。
どなたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください！

日時：2018年 5月30日（水）
11時00分～12時00分

場所：西国がんセンター
患者・家族総合支援センター暖かいひろば

講師：武智雅子氏
産業保健総合支援センター両立支援促進員
特定社会保険労務士

参加費無料

TEL: 099-999-1209

<参加人数>

8名

<内容>

- ①産業保健総合支援センターについて
- ②社会保険労務士について
- ③病気の治療をしながら働くためのポイント
（休職や復職についてなど）

<参加者の声>

- ・行政の体制についての要望
- ・質問時間で他の参加者お話しも聞けて良かった。
- ・具体例を出していただきわかりやすかった。



就労関連企画（患者・家族向け）

がんと仕事

**がん経験者のための
就職活動セミナー**
～自分らしく働くために～

「働きたい」という気持ちを持ちながらがん経験者の力を対象に就職活動セミナーを開催します。
「再就職のことをどう伝えればいいの？」
「通院や治療をしながら働くことができるの？」など
仕事と再就職に関する様々な疑問について就職支援ナビゲーターが
ご紹介します。
自分らしく働くためのヒントを一緒に考えておまかせんか？
お気軽にご参加ください！！

日時 2018年 9月19日（水）
10時00分～10時45分

場所 四国がんセンター
患者・家族総合支援センター 暖かいひろば

講師 西原美智子氏
ハローワーク松山 就職支援ナビゲーター

参加費無料

（主催・問い合わせ）
四国がんセンター 患者・家族総合支援課
TEL：089-999-1200



<参加人数>
10名

<内容>
①仕事の意味について
②就職活動のポイント

<参加者の声>
・仕事への向き合い方などとてもためになった。
・同じ立場の人たちの意見を聞く場所が欲しい。



就労関連企画（企業・医療者・ハローワーク・社会保険労務士向け）

がん経験者就労支援セミナー
～治療と仕事の両立に向けて～

昨今、がん患者の治療と仕事の両立に向けた就労支援の必要性が高まっています。
「がんと仕事」にかかわる様々な現状や課題には、がん治療に関する知識、労働法や労務制度（社会保険、就業規則など）の知識なども、各企業での意識が不可欠です。
そこで、本セミナーでは、これまでにがん経験者の就労支援に関わってきた一般社団法人CSB
プロジェクトの社会保険労務士を講師、就労支援を行うために必要な知識や実践のポイントを
ロールプレイなどを通じて学びます。
【がんになっても安心して暮らせる環境】を創出して、働き続けられることを一緒に考えてい
きましょう。

日時 2018年 10月25日（木）
13時00分～16時00分（受付12時30分～）

場所 四国がんセンター 地域連携推進研修センター3階 研修室0203

対象 がん患者の就労支援に関わる方々
（医療関係者、ハローワーク関係者、社会保険労務士、企業関係者など）

講師 近藤明美氏
一般社団法人CSBプロジェクト副代表理事/特任社会保険労務士
キャリアカウンセラー
藤田久子氏
一般社団法人CSBプロジェクト理事/社会保険労務士/社会福祉士

定員 先着50名 定員になり次第、締切とさせていただきます

申込み 申込書（裏面）に記載の上、
FAXもしくはメールにてお申込みください
申込み締切：9月30日（日）

（申込み・問い合わせ）
四国がんセンター 患者・家族総合支援課
〒791-0290 松山市南寿町甲160
TEL：089-999-1200
FAX：089-939-1210
メール：tsupac@hokuriku-cs.jp

主催：四国がんセンター（患者・家族総合支援センター）
共催：愛媛県社会保険労務士会、愛媛県産業医労務センター、愛媛県がん診療連携推進
機構、愛媛労働局



<参加人数>
32名

<内容>
①両立支援の政策的な動き
②両立支援の実際のポイント、相談事例
③勤務情報の書き方（ワークショップ）

<参加企業関係者からの声>
・初めて知ったことがほとんど
・病気のことを聞きたくても聞きにくい。患者のことを知る
良いきっかけになった
・病院の主治医が欲しい情報が少しわかった

<参加医療者からの声>
・企業側の人事・労務担当者の思いを知るよい機会と
なった
・企業の産業医や産業保健師のサポートについて初めて
知った
53



就労関連企画（企業・医療者・ハローワーク・社会保険労務士向け）



がん経験者就労支援セミナー
～治療と仕事の両立に向けて～

【日時】2018年10月25日(木)
13:00～16:00(入場12:30～)

【会場】岡山県立がんセンター 3F 会議室(岡山県岡山市東区)

【参加費】無料

【申し込み】岡山県立がんセンター がん相談支援センター
〒763-0292 岡山県岡山市東区山手1-1-1
TEL:086-835-1111 FAX:086-835-1112

発行 掲載 (岡山県立がんセンター)

がん治療をしながら働く人増加

患者の就労支援探る

企業関係者ら松山でセミナー
がんの治療をしながら働く人が増えている。働きながらがん治療を受ける人も増えている。松山県立がんセンターでは、がん治療をしながら働く人増加を促進するために、10月25日(木)、松山県立がんセンターで、企業関係者らを集めた「がん治療をしながら働く人増加を促進するためのセミナー」を開催した。同セミナーには、岡山県立がんセンターの職員らも参加した。

グループワークに取り組み参加者 岡山県立がんセンター

復職への不安・通院休暇…意向くみ取ること大切

がん治療をしながら働く人増加を促進するために、企業関係者らを集めた「がん治療をしながら働く人増加を促進するためのセミナー」が、10月25日(木)、松山県立がんセンターで、岡山県立がんセンターの職員らも参加した。

セミナーは、岡山県立がんセンターの職員らも参加した。セミナーでは、がん治療をしながら働く人増加を促進するために、企業関係者らを集めた「がん治療をしながら働く人増加を促進するためのセミナー」が、10月25日(木)、松山県立がんセンターで、岡山県立がんセンターの職員らも参加した。

セミナーでは、がん治療をしながら働く人増加を促進するために、企業関係者らを集めた「がん治療をしながら働く人増加を促進するためのセミナー」が、10月25日(木)、松山県立がんセンターで、岡山県立がんセンターの職員らも参加した。

セミナーでは、がん治療をしながら働く人増加を促進するために、企業関係者らを集めた「がん治療をしながら働く人増加を促進するためのセミナー」が、10月25日(木)、松山県立がんセンターで、岡山県立がんセンターの職員らも参加した。



就労関連協力（企業・産業医・産業保健スタッフ・医療従事者向け）



愛媛治療と仕事の両立支援セミナー開催のご案内

「治療と仕事の両立支援」とは、がんの治療をしながら仕事を続けることを支援するための取組です。

本セミナーでは、「治療と仕事の両立支援」の具体的な取組方法や就業支援イベント、もたらす効果などについて、企業と関係機関の両者からわかりやすくご紹介いたします。是非ご参加ください。

- 1 日時 平成30年11月18日(月) 14:00～17:15 (13:00～ 受付開始)
- 2 会場 松山市民会館 中ホール (松山市内之内)
- 3 対象 企業関係者、産業医・産業保健スタッフ、医療従事者等
- 4 定員 席数に限りあり
- 5 費用 無料
- 6 講師
 - (1) 愛媛労働局長 あいさつ
 - (2) 基調講演
 - 産業医 一徳会と仕事の両立支援とは～(愛)
 - 逸野院一徳(株式会社フジクラ 人事課・健康経営推進室 副室長)
 - (3) 取組紹介
 - 産業医科大学・愛媛大学医学部附属病院
 - 病院がんセンター・愛媛県立病院
 - 病院薬剤師・愛媛県社会保険労務士会
 - (4) P&Kシステム株式会社 一徳会での取組について
 - (5) 質疑応答
- 7 入場料等 無料
- 8 申込方法 03-5561-5561までお電話
- 9 申込締切 平成30年10月31日(金)
- 10 問合せ先 治療と仕事の両立支援セミナー事務局 (TEL 03-6630-9493)

※注意事項

- ・講師には別紙の要領書をお送りし、出席者リストをお送りください。ご出席される方のご名簿となります。
- ・当日は、挨拶のために服装を行います。あらかじめご了承ください。
- ・セミナーは都合により変更する場合があります。
- ・質問等、遠慮なく、セミナーの中止をさせていただく場合があります。

54



愛媛県地域両立支援推進チームの設置

平成29年7月～

設置目的

地域の実情に応じた治療と仕事の両立支援を効果的に進めるため、愛媛県における関係者のネットワークを構築し、両立支援の取り組みの連携を図ることを目的とする。

事務局

愛媛労働局 労働基準部 健康安全課

メンバー

- 愛媛県 経済労働部産業雇用局 労政雇用課
- 愛媛県 保健福祉部健康衛生局 健康増進課
- 一般社団法人 愛媛県医師会
- 愛媛県経営者協会
- 愛媛県社会保険労務士会
- 愛媛県商工会議所連合会
- 国立大学法人 愛媛大学 医学部附属病院
- 公益社団法人 愛媛労働基準協会
- 愛媛労働局 雇用環境・均等室
- 愛媛労働局 職業安定部
- 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
- 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
- 特定非営利活動法人 日本キャリア開発協会
- 一般社団法人 日本産業カウンセラー協会
- 日本労働組合総連合会 愛媛県連合会
- 独立行政法人 労働者健康安全機構 愛媛産業保健総合支援センター
- 独立行政法人 労働者健康安全機構 愛媛労災病院

取り組み内容

- ・愛媛県における両立支援の推進、周知
- ・冊子・パンフレット等の共有・周知
- ・企業・労働者・患者が利用できる相談窓口の一覧表作成
- ・県内における両立支援コーディネーターの周知等
- ・リーフレット、両立支援ホームページを作成
- ・両立支援にかかるイベントの開催、協力、周知

がん患者さんの『働きたいを支えるために』 必要なこと

病院としてできること

- ・「仕事をすぐに辞めなくて良い」ことを伝える
- ・就労継続、職場復帰の不安を聴く
- ・病状・治療スケジュール、予想される副作用を分かりやすく伝える
- ・副作用・後遺症による心身への負担を考慮した就労形態や内容に関する助言

病院だけの支援では限界がある



職場、地域、医療関係者の協力で、病気になった人が働くことを支援する必要がある

企業の担当者、産業医、保健師、ハローワーク、産業保健総合支援センター、患者会等就労の関係者との円滑な連携

がんになっても安心して暮らしていける 社会を目指しましょう ご清聴ありがとうございました



『がんを克服する支え』の大切さ と必要

がんを克服する支え

がんを克服する支えとは、がん患者さんやご家族の生活を支えるための様々なサービスや支援のことです。

がんを克服する支えには、がん患者さんやご家族の生活を支えるための様々なサービスや支援があります。

がんを克服する支えの重要性



がんを克服する支えは、がん患者さんやご家族の生活を支えるための大切な役割を果たしています。

愛媛県がん診療連携協議会

お問い合わせ サイトマップ

HOME 愛媛県がん診療連携協議会会長あいさつ 愛媛県がん診療連携協議会について 専門部会について 協議会・専門部会の参加について

トップページ > 専門部会について > がん相談支援専門部会 > 活動実績 > 議事録

専門部会について

がん相談支援専門部会：活動実績
議事録

平成30年度

- ・第2回がん相談支援専門部会2018.12.1 (PDF:290KB) [開](#)
- ・えひめ・まつやま産業まつりすごいもの博2018がん相談支援センター広報活動・がん出張相談実施報告書2018.11.24 (PDF:236KB) [開](#)
- ・フジグラン健康フェスタ2018がん出張相談実施報告書2018.9.6 (PDF:186KB) [開](#)
- ・平成30年度 相談支援部会 広報活動ワーキング議事録2018.7.28 (PDF:175KB) [開](#)
- ・第1回がん相談支援専門部会2018.7.28 (PDF:284KB) [開](#)

平成29年度

- ・H29年度チェックリスト実施報告書 (PDF:170KB) [開](#)
- ・H29年度チェックリスト集計結果 (PDF:181KB) [開](#)
- ・第6回愛媛県がんサロン担当者の交流・検討会開催報告書2018.02.08 (PDF:245KB) [開](#)
- ・第2回がん相談員研修会活動実施報告書2018.01.27 (PDF:296KB) [開](#)
- ・第2回がん相談員研修会アンケート調査2018.01.27 (PDF:417KB) [開](#)
- ・がんサポートサイトえひめ合同説明会議事録2017.12.02 (PDF:135KB) [開](#)
- ・第2回がん相談支援専門部会2017.12.02 (PDF:258KB) [開](#)
- ・第2回がん相談員研修ワーキング議事録2017.11.21 (PDF:288KB) [開](#)
- ・第1回がん相談支援専門部会2017.7.22 (PDF:237KB) [開](#)
- ・第1回がん相談員研修会活動実施報告書2017.07.08 (PDF:282KB) [開](#)
- ・第1回がん相談員研修会アンケート調査2017.07.08 (PDF:594KB) [開](#)
- ・第1回がん相談員研修ワーキング議事録2017.4.27 (PDF:324KB) [開](#)

平成28年度

- ・第5回愛媛県がんサロン担当者の交流・検討会開催報告書2017.2.10 (PDF:193KB) [開](#)
- ・第2回がん相談支援専門部会活動実施報告書2017.1.14 (PDF:255KB) [開](#)
- ・第2回がん相談員研修会アンケート調査2017.1.14 (PDF:493KB) [開](#)
- ・第2回がん相談支援専門部会2016.12.3(PDF:89KB) [開](#)
- ・第2回がん相談員研修ワーキング議事録2016.11.1(PDF:299KB) [開](#)
- ・第1回がん相談支援専門部会2016.7.23 (PDF:115KB) [開](#)
- ・第1回がん相談支援専門部会活動実施報告書2016.5.21(PDF:451KB) [開](#)
- ・第1回がん相談員研修会活動及びアンケート調査報告書2016.7.9(PDF:724KB) [開](#)
- ・第1回がん相談員研修ワーキング議事録2016.5.24 (PDF:299KB) [開](#)






平成27年度

- ・第2回がん相談員研修会活動及びアンケート調査報告書2016.2.26(PDF:641KB) [開](#)

専門部会について

- ・がん地域連携専門部会
 - ▶ 活動方針・目的
 - ▶ 年度計画
 - ▶ 活動実績
 - ▶ セミナー・研修会
- ・緩和ケア専門部会
 - ▶ 活動方針・目的
 - ▶ 年度計画
 - ▶ 活動実績
 - ▶ 愛媛県緩和ケア研修会PEACE
- ・がん相談支援専門部会
 - ▶ 活動方針・目的
 - ▶ 年度計画
 - ▶ 活動実績
 - 議事録
 - 抄録、学会報告、冊子等
 - ▶ セミナー・研修会
- ・がん登録専門部会
 - ▶ 活動方針・目的
 - ▶ 年度計画
 - ▶ 活動実績
- ・がんの集学的治療専門部会
 - ▶ 活動方針・目的
 - ▶ 年度計画
 - ▶ 活動実績
 - ▶ セミナー・研修会
- ・がん看護専門部会
 - ▶ 活動方針・目的
 - ▶ 年度計画
 - ▶ 活動実績
 - ▶ セミナー・研修会

- ・第2回がん相談支援専門部会2015.12.5 (PDF: 191KB) [開](#)
- ・第2回愛媛県がん相談員研修ワーキング2015.11.12 (PDF: 271KB) [開](#)
- ・第1回がん相談支援専門部会2015.7.25 (PDF: 280KB) [開](#)
- ・第1回愛媛県がん相談員研修会活動報告2015.7.7 (PDF: 255KB) [開](#)
- ・第1回愛媛県がん相談員研修ワーキング2015.6.26 (PDF: 176KB) [開](#)

-  愛媛県がん診療連携協議会
参加施設のご紹介 [開](#)
-  愛媛県 [開](#)
-  愛媛県がん診療連携協議会がお勧めする
役立つサイト情報 [開](#)
-  愛だん 患者・家族総合支援センター [開](#)
-  がん登録でみる愛媛県のがん診療 [開](#)

平成26年度

- ・第1回愛媛県がん相談員研修ワーキング2015.2.26 (PDF: 266KB) [開](#)
- ・サロン交流会・検討会2015.2.10 (PDF: 142KB) [開](#)
- ・第2回愛媛県がん相談員研修会報告2015.1.16 (PDF: 295KB) [開](#)
- ・第2回がん相談支援専門部会2014.12.6 (PDF: 438KB) [開](#)
- ・第2回愛媛県がん相談員研修ワーキング2014.11.11 (PDF: 195KB) [開](#)
- ・第1回がん相談支援専門部会2014.8.2 (PDF: 165KB) [開](#)
- ・第1回愛媛県がん相談員研修会活動報告2014.7.8 (PDF: 274KB) [開](#)
- ・第1回愛媛県がん相談員研修ワーキング2014.4.22 (PDF: 192KB) [開](#)

平成25年度

- ・第3回愛媛県がん相談員研修ワーキング2014.3.11 (PDF: 174KB) [開](#)
- ・第2回がん相談員研修会活動報告2014.1.21 (PDF: 202KB) [開](#)
- ・第2回愛媛県がん診療連携協議会分科会2013.12.7 (PDF: 247KB) [開](#)
- ・第2回がん相談員研修ワーキング打ち合わせ2013.11.15 (PDF: 111KB) [開](#)
- ・第1回愛媛県がん診療連携協議会分科会2013.7.27 (PDF: 260KB) [開](#)
- ・第1回愛媛県がん相談員研修会活動報告2013.7.19 (PDF: 222KB) [開](#)
- ・第1回愛媛県がん相談員研修会2013.6.18 (PDF: 147KB) [開](#)

「がん相談支援専門部会」議事録

日 時	平成 30 年 7 月 28 日 (土) 13:00～14:25			
場 所	四国がんセンター 患者・家族総合支援センター暖だん2階 憩い・学びのひろば			
出席者 (30名)	愛媛大学医学部 附属病院	塩見 (副部会長)、 合田、池田、六角、	愛媛県立中央病院	外山、季羽、村上、平野、 渋谷
	済生会今治病院	松岡、小野、永井	松山赤十字病院	三好、神岡
	住友別子病院	和田	市立宇和島病院	毛利、沼田、黒田
	済生会西条病院	森	十全総合病院	柿本
	済生会松山病院	平岡、藤原	HITO 病院	高橋
	市立八幡浜総合病院	高橋	松山市民病院	三谷
	四国中央病院	古川、高木	四国がんセンター	灘野 (部会長)、中本、 大西、関木、福島
	愛媛がんサポート おれんじの会	松本		
記 録 者	県立中央病院	季羽		

議 事 要 旨

1. 開会・部会長挨拶

新メンバー自己紹介

- ・六角 (愛媛大学医学部附属病院: チェックリストワーキング担当)
- ・小野 (済生会今治病院)
- ・藤原 (済生会松山病院: 広報ワーキング担当)

都道府県がん診療連携協議会 情報提供・相談支援部会報告 (資料参照)

資料をもとに抜粋して報告があった。

1) 施策の動向 (がんゲノム医療、両立支援)

- ・第3期がん対策推進基本計画に伴い、がんゲノム医療の推進体制がとられている

2) 災害対策について(がん情報サービスの災害発生時ホームページの情報提供)

- ・首都圏での災害発生時は九州がんセンターが主体となり運用状況等の情報を掲載予定

※災害発生時 HP の確認を各自確認のこと

拠点病院: ID、パスワードでアクセス

推進病院: メールリストで配信予定

3) 地域相談支援フォーラム(香川県)

- ・四国4県で協力し開催予定: 塩見、福島が実行委員を担当

4) がん相談支援センターと地域の図書館との連携について (別紙参照)

- ・愛媛県立図書館及び新居浜市立別子銅山記念図書館に寄付されている

5) 認定がんナビゲーター制度

- ・40時間以上のEラーニングを受講後、拠点病院で見学実習を行い、10症例以上の経験が必要

※今後拠点病院へ実習見学要請の可能性あり (Eラーニング受講修了者: 愛媛県1名)

2. 各ワーキンググループの活動報告と今後の予定

1) がん相談員研修ワーキング

・研修日程について

7月7日(土) 住友別子病院にて開催予定であったが天候の影響により延期となった
※8月18日(土) 同じ場所と時間(13:00~16:30)で開催予定(別紙参照)

・QA研修(高知県)の案内(資料参照)

「相談対応の質保証(QA: Quality Assurance)を学ぶ」研修

11月3日(土) 定員30名 ※参加申込始まっている

※来年度は徳島県と香川県、再来年度は愛媛県で開催予定

2) サロン担当者交流・検討会ワーキング

・平成30年2月8日(木) がんサロン担当者の交流・検討会開催の報告
内容、アンケート結果について資料参照

・今年度の活動について

今年度のサロン交流会は研修、イベント等で多忙なため休会とする。

おれんじの会の松本さんより、町なかサロンでの交流会について提案あり

町なかサロンの案内をしてもらううえで、雰囲気やハード面を知ってもらうことを兼ねて
見学+意見交換会を行う方向で検討する。

3) チェックリストワーキング(資料参照)

・平成29年度の報告

・平成30年度のチェックリストの実施について

※各病院の提出期限:平成30年11月29日(木)17時までにメールで提出とする

メールで提出が難しい場合は、12月1日(土)の専門部会当日にUSB等電子媒体で提出
する

1月中旬にワーキングで集計予定

4) 広報活動ワーキング

・平成29年度の活動報告

・今年度の活動について

今年度もイベントに参加し、出張相談、広報活動を継続して行う

①株式会社フジ介護・健康フォーラム(9/6~9/9)

介護や健康に関するイベントのため、広報活動の場としては適している

日程については協議が必要だが、参加の方向で調整する

②えひめ・まつやま産業まつり 愛媛すごいもの博(11/24~11/25)

イベント規模も大きく、一般市民にPRする場として、今年も継続して参加する

*リレーフォーライフ愛媛(9/29~9/30)

今年は開始時間が17:00~であり、時間短縮されたプログラムのため、一昨年のような出
張相談を行うのは現実的に難しい

*各施設の方は、院内の広報も積極的にお願いしたい

*院外、一般向けの広報活動として何か良いものあれば教えてほしい

3. 災害時の相談支援体制について

1) 平成30年7月豪雨災害の現状報告(南予地域)

①市立宇和島病院及び市立八幡浜総合病院より現状報告あり

・26名の人的被害、住居やライフライン、断水等の問題が発生した

- ・市立宇和島病院に DMAT の本部が設置され、県立新居浜病院の医師が責任者となり、必要な物資について情報発信を行った
- ・吉田病院が断水により患者受け入れ中止となった
- ・薬がない、車の浸水により通院ができず他の交通手段もない、がん治療が継続できない、入浴や洗濯ができないなどの相談が相次いだ
- ・7月9日(月)には実務者会が行われ、西予市や鬼北町、松野町での受け入れが可能となった
- ・一番困ったのは情報の重要性を感じながらも DMAT との連携が困難であったこと
- ・現在は断水も徐々に解消され住居の確保や道路の修繕も進んでいる
- ・二次災害対策として、感染の認定看護師よりトイレ使用時の注意点等指導が行った
パウチの洗浄に湧き水を使用していたケースがあり、保健師による指導と水の提供を行った
- ・ストマパウチが流されるなどの被害があり、皮膚排泄ケア看護師が主体となり大洲市と八幡浜市が連携しストックについて協議を進めている

②おれんじの会松本さんより

- ・ひとりじゃないよプロジェクトについて(別紙参照)
ウィッグやケア用品等の寄附を募り、物を届ける支援事業
ひとりでも希望する方がいればひとりのために届けることを目的とする
- ・がん患者団体連合会では災害時に患者さんに気をつけて欲しいことについてFBやツイッターなどで情報発信を行った
- ・何らかの災害が発生した時には県拠点病院が迅速に情報提供に取り組んで欲しい
治療や感染対策など医療に関する基本事項などエビデンスのあるものが安心材料になる

2) 各相談支援センターの対応状況について

- ・愛大：車やJRが利用できず、病院に行けないと泣きながらの電話相談があった
大洲や八幡浜の調剤薬局と連携し処方箋をFAXする対応を行った
- ・日赤：DMATの活動や臨床心理士、医事課による対応を行った

3) 緊急時の相談体制と連絡網作成について

- ※今後相談を受けた時の対策として連絡網を作成し各病院の連絡先を共有する
- ※がんセンターを中心に災害発生時の周知公表体制を検討予定

実際の対応は各病院の相談支援センターであるため協力を請う

4. がんサポートサイトえひめについて

- ・『愛媛県がん情報提供ページ がんサポートサイトえひめ』の進捗状況と今後の予定
乳がんについては pre 公開中
肺がんについてはもうすぐ完成予定
胃がんについては、9月～10月完成予定
大腸及び肝臓は11月に Grand open の予定
婦人科の目標は2月完成
他の臓器についても今年度いっぱい完成するし2019年3月に公開イベントを予定している
- ・各施設コメント執筆にあたって注意事項の共有
患者さんの視点で分かりやすい内容で
1回/年見直しを行い、内容検討後に更新する方針

5. その他

・各ワーキングメンバーおよびがんサポートサイトえひめ担当者の変更について
ワーキングメンバーについては病院毎に各ワーキング担当者をおくこととする
(会議中に名簿を回覧し記入)

以上

「がん相談支援専門部会」議事録

日時	平成 30 年 12 月 1 日 (土) 13:00~14:50			
場所	四国がんセンター 患者・家族総合支援センター暖だん 2 階 憩い・学びのひろば			
出席者 (30名)	愛媛大学医学部 附属病院	塩見 (副部会長)、 合田、池田、六角、	愛媛県立中央病院	外山、季羽、村上、平野、 渋谷
	済生会今治病院	松岡、小野、永井	松山赤十字病院	三好、河野
	住友別子病院	和田、山地	四国中央病院	古川
	済生会西条病院	森	十全総合病院	柿本
	済生会松山病院	平岡、藤原	HITO 病院	高橋
	市立八幡浜総合病院	高橋	松山市民病院	三谷
	愛媛労災病院	田中	四国がんセンター	灘野 (部会長)、福島、 大西、関木
	市立宇和島病院	毛利、沼田、黒田 川中		
記録者	松山市民病院	三谷		

議事要旨

I. 報告事項

【 相談員研修 WG 】

平成 30 年度第 1 回研修会報告

豪雨災害を受け、当初予定していた 7/7 より 8/18 に変更し住友別子病院にて開催した。
東予地区の福祉職 7 割、看護職 3 割の 23 名の参加者があり、活発に行われた。
詳細は別紙報告書を参照。今後は南予地区での開催も見据えていく。

QA 研修 in 高知の報告

QA 研修会が 11 月 3 日に高知県において開催され愛媛県からは 7 名の参加者、2 名のファシリテータ
を加え、総勢 35 名が参加した。次年度は香川・徳島にて開催を予定し、愛媛は 2020 年度の開催予定
である。

第 3 期計画における県内の相談員研修受講について (継続研修の必要性)

I 第 3 期がん対策推進基本計画 (平成 30 年 3 月 9 日に閣議決定)

- ・、がん種、世代、就労等の患者それぞれの状況に応じたがん医療や支援がなされていない。
- ・ がんの罹患をきっかけとした離職者の割合が改善していない
- ・ 希少がん、難治性がん、小児がん、AYA 世代 (思春期世代と若年成人世代) のがんへの対策が
必要である。

- ・ ゲノム医療等の新たな治療法等を推進していく必要がある。
- ・ 就労を含めた社会的な問題への対応が必要であること等が明らかとなっている。

II がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針（厚労省；7月31日）

- ・ がんゲノム医療に関する相談
- ・ 希少がんに関する相談
- ・ AYA世代にあるがん患者に対する治療療養や就学
- ・ 就労支援に関する相談
- ・ がん治療に伴う生殖機能の影響や、生殖機能の温存に関する相談、

第3期がん対策推進基本計画、がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針において新たに課題として示された上記の相談支援に関する項目が追加となっている情勢も踏まえ、研修会へは各病院より積極的に参加することを確認した。

→ 来年度の研修に向けて、各施設からの意見を参考に企画するため、アンケートを配布する相談に掛かる皆に回答を依頼するため12/20を期限として各施設へ依頼する。

【 広報活動 WG 】

平成30年度の報告

- 1) フジ健康フェスタ 9月6日（木）～9月9日（日）
*PR活動・出張相談
- 2) リレーフォーライフ 9月29日（土）
*台風の影響もあり短縮開催となったがPR活動を実施
- 3) えひめ・まつやま産業まつり すごいもの博2018 11月24日（土）～11月25日（日）
*PR活動・クイズラリー・乳がん自己検診モデルを活用しがん検診の啓発。

次年度以降も引き続きイベントへの参加を行う予定。

【 チェックリスト WG 】

チェックリスト提出状況の報告と今後の予定

昨年度に引き続き、がん相談支援センターの活動のPDCAサイクルの評価の為に、チェックリストを用いた評価を実施するために各病院からのチェックリストを集計し1月中までに、集計を行い、3月にフィードバックを行う予定。

【 サロン担当者交流会 WG 】

・県下のがん診療連携拠点病院・推進病院の相談員やサロン担当者が「町なかサロン」の立地や雰囲気、取り組みの実際を知り、患者・家族への情報提供に役立てることができるよう、町中サロンの見学及びピアサポーターとの意見交換を松本陽子氏よりご提案いただき、平成 31 年 1 月 22 日（火）13：30 に町なかサロンで開催予定。

→ 現在募集は締め切ったが、次週まで締め切りを延長し各施設より参加を募ることとした。会場は 15 名程度が限界になるが、募集状況により判断を行う。

【 地域相談支援フォーラム in 四国の案内 】

地域相談支援フォーラム in 四国「がんになってもその人らしい選択を支えるために～相談支援・情報提供の架け橋～」が香川県にて開催される

開催日：2019 年 2 月 9 日（土）開催時間：10：00～17：00

→ 12/28 までの受付となっており、多数の参加を御願いたいと。併せて懇親会も予定しており、宿泊での研修参加を周知依頼した。

II. 協議事項

【 サロン担当者交流会 WG の活動について 】

サロン担当者交流検討会開催の継続等について
サロン WG の活動を継続していくべきかどうか

これまでの活動経緯

元々患者家族総合支援センターの事業として平成 25 年より活動しており、平成 26 年度より専門部会の取り組みとして活動し、各院内での理解や周知、サロンでの緊急時体制、ピアサポーターの派遣、各サロン情報の共有と方法整備について現状と課題を話し合ってきた。

今後について

各病院内でサロンも定着しつつあり、開設当初の目的は達成されつつあることを踏まえ毎年の開催でなく、必要時開催することを提案された。現在開設していない、市民病院、済生会西条病院、十全総合病院の現況を把握するとともに、1 月に開催予定の町中サロンの見学及びピアサポーターとの意見交換会のあつて、改めて検討することとする。

【 豪雨災害時の対応報告および災害時の連絡体制の検討 】

7月7日に豪雨災害により延期となった相談員研修会を踏まえ、中止延期について災害時や災害が予測される時の開催延期等の判断基準、緊急連絡網やメーリングリストの整備について検討を行った。

緊急連絡網として、もっとも災害の影響を受けにくいのはLINEであり、東北の震災をはじめとしてどの災害にも有用であったと。市立宇和島病院では先の災害を踏まえ、試験的にグループラインでの運用を開始している。

- ルールとして、こういったメールを発信するか私用メールの使用など整備が必要である。今後の災害に備えテストメールを発信し情報の共有を図ることを確認し継続課題とした。

【 地域相談支援フォーラムでの愛媛の先駆的取り組み発表および がんサポートサイトえひめの活用方法の検討 】

地域相談支援フォーラム in 四国において各県の相談支援の現状につき発表依頼があり、愛媛大学病院 塩見氏より愛媛県の取り組みとして、がんサポートサイト愛媛の紹介を中心に発表予定であるとの情報提供があり、情報共有を行った。

- 同サイトの相談支援への応用方法や課題について、そして広報をどのようにしていくべきか検討し、意見があれば塩見氏までメールにて報告することを確認するとともに灘野部会長より、現状の完成までの進行状況について周知された。

【 がん相談支援センターの内規について 】

相談支援にかかるマニュアルを活用し業務を行っている施設はまだなく、愛媛県としてマニュアルを作成することにつき、福島氏より提案される。

(今治済生会病院、住友別子病院)内規の重要性について必要性を感じ継続支援の中でルールを作っていくことで、相談員の能力の向上にもつながるものであり、来年度には作成をしたい。経験年数が若い相談員にもわかりやすいマニュアルを作成途中である。

個人情報の取り扱いなど少しづつだが元になるものがあれば作りやすい。

WGが必要なのかなど参加施設より意見もあり、再来年度に当県でQA研修が開催されるまでには構築できるよう引き続き検討課題として確認した。

III. その他

【 愛媛県がん生殖医療ネットワークについて 】

がん治療医が若年がん患者さんに対して適切な施設へ紹介すること。

がん患者さんが生殖機能や妊孕性に関するカウンセリングや妊孕性温存処置。
がん治療が終了後の不妊治療を円滑に受けられるようサポートすること

上記を目的として、がん拠点病院と生殖医療を行う施設間のより有機的連携を強化する目的で、愛媛大学医学部附属病院がコーディネーターセンターとして機能する県がん生殖医療ネットワーク (EON) が平成 30 年 4 月 1 日に立ち上がったことについて情報共有を行った。(別紙参照)

【 イベント周知 】

がんと遺伝のセミナー「メディカルスタッフのためのがんと遺伝」
平成 31 年 3 月 23 日開催 於 四国がんセンター

【 がんサポートブックえひめについて 】

全国的な取り組み

国立がん研究センターのがん対策情報センターでは、全国から寄付を募り全国の図書館にがんに関する資料を寄贈し、信頼できるがんの情報を得て、正しい知識を地域に伝える為に取り組む「がん情報ギフト」プレゼントを各地域において展開している。

愛媛県の取り組み

愛媛県内では、愛媛県立中央図書館、松前町ふるさとライブラリ、伊方町立図書館、宇和島市立図書館、新居浜市立別子銅山記念図書館、西条市立図書館にがん冊子に合わせて、がんサポートブックえひめを配布している

増刷についての検討

数年前に作成したがんサポートブックえひめも現状在庫がある医療機関はほとんどない。3 年前に 5 施設からの増刷希望があり 2000 冊の増刷を行ったが、一冊にかかる単価は 280 円であった。コストを抑えるために、はがきの切り取りのミシン目を外す。ページごとの用紙の大きさの統一により、金額を抑えることができる。3000 冊の増刷ならば 160 円となる。

メーリングにてアンケートを募り 12 月中旬をめぐりに増刷の可否についてなど意見をまとめることとした。

以上

この論文は、1970年代後半から1980年代前半にかけての日本の経済成長と、その背景にある技術革新と、その影響を考察している。特に、高度成長期の後半から、技術革新がもたらした変化に焦点を当てている。

【 資料1-1 】

高度成長期の後半から、技術革新がもたらした変化に焦点を当てている。特に、高度成長期の後半から、技術革新がもたらした変化に焦点を当てている。

【 資料1-2 】

高度成長期の後半

高度成長期の後半から、技術革新がもたらした変化に焦点を当てている。特に、高度成長期の後半から、技術革新がもたらした変化に焦点を当てている。

高度成長期の後半

高度成長期の後半から、技術革新がもたらした変化に焦点を当てている。特に、高度成長期の後半から、技術革新がもたらした変化に焦点を当てている。

高度成長期の後半

高度成長期の後半から、技術革新がもたらした変化に焦点を当てている。特に、高度成長期の後半から、技術革新がもたらした変化に焦点を当てている。

高度成長期の後半から、技術革新がもたらした変化に焦点を当てている。特に、高度成長期の後半から、技術革新がもたらした変化に焦点を当てている。

AYA世代対応ネットワーク・ 妊孕性ネットワークセミナー

日時：2019年1月19日(土) 16:00～18:20

**会場：ANAクラウンプラザホテル松山 南館 4階『エメラルド』
〒790-8520 愛媛県松山市一番町3-2-1
TEL:089-933-5511(代)**

【Opening Remarks】

国立病院機構 四国がんセンター 院長 谷水 正人 先生

【基調講演】

座長：国立病院機構 四国がんセンター 院長 谷水 正人 先生

「AYA世代がん患者に対する当院の取組み」

演者：愛媛県立中央病院 小児医療センター長 石田 也寸志 先生

「妊孕性温存についての愛媛県における取組みについて」

演者：愛媛大学大学院医学系研究科 産科婦人科学 助教 安岡 稔晃 先生

【特別講演】

座長：国立病院機構 四国がんセンター

臨床研究推進部長 青儀 健二郎 先生

「AYA世代のがんを考える

－がんの診断と治療のサバイバーシップへの影響と支援のあり方－

演者：国立国際医療研究センター

乳腺腫瘍内科 清水 千佳子 先生

【Closing Lecture】

「AYA世代でがんを経験して～愛媛での取組みへの期待～」

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長 松本 陽子氏

※会終了後、情報交換会を予定しております

共催：愛媛県がん診療連携協議会/中外製薬株式会社

愛媛県における妊孕性温存の取り組み

2019年1月20日

愛媛大学医学部附属病院
安岡稔晃

若年がんサバイバーの推定数

(国立がん研究センターがん対策情報センター)

悪性腫瘍罹患患者数(2012年)

0-14歳 男 995人 女 880人

15-39歳 男 7273人 女 14299人

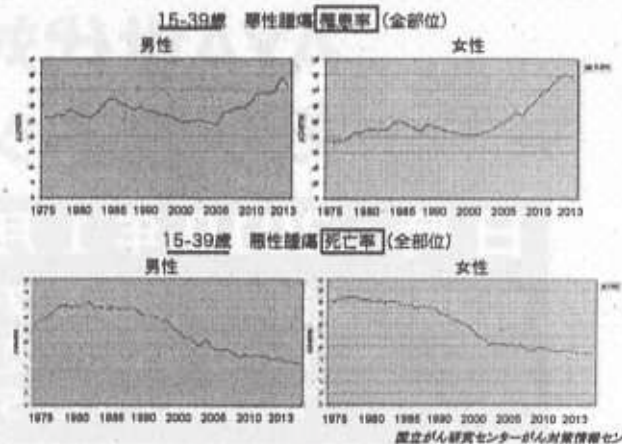
悪性腫瘍10年生存率(2002-2006年)

0-14歳 男 73.2% 女 79.3%

15-39歳 男 66.0% 女 75.3%

男 5,500人/年 女 11,000人/年で増加している

がん診療の発展によるサバイバーの増加



がん治療と妊孕性の消失

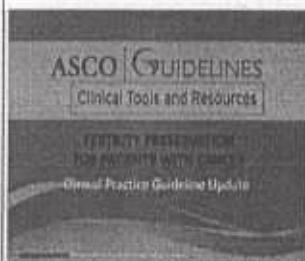
妊孕性(能) = fertility, 妊娠する能力 ⇒ 女性
生殖機能 = 子孫を残すために必要な機能 ⇒ 男性・女性

がんに対する化学療法、放射線療法、手術などのがん治療により、卵巣、精巣機能の低下のリスクあり (外科的摘出の可能性も)

- ▶ 化学療法誘発性無月経(特にアルキル化剤)
- ▶ 化学療法による無精子症(特にアルキル化剤)
年齢、抗がん剤の種類、投与量に影響される
- ▶ 放射線照射による性腺機能低下

がん・生殖医療に関する診療ガイドライン

2006年に米国臨床腫瘍学会は米国生殖医学会と共同で「がん患者に対する妊孕性温存ガイドライン」を発表し、がん治療による妊孕性低下リスク分類、各種妊孕性温存対策の選択肢、がん患者に対してこれらの情報提供の必要性について言及した。



Lee, SJ et al. J Clin Oncol 24(18): 2917-2931(2006)
Levine, J et al. J Clin Oncol 23(32): 4831-4841(2005)
Loren, AW et al. J Clin Oncol 31(119): 2500-2510(2013)

小児、若年がん患者の

妊孕性温存に関する診療ガイドライン



小括: がん診療による生殖機能低下とがん・生殖医療

がん診療の進歩→サバイバーの増加

罹患患者数、10年生存率から推定すると
若年成人(YA)世代のがんサバイバーは
男性 5,500人/年
女性 11,000人/年
で増加している

その一部は



愛媛県 男性 50人/年
女性 100人/年

愛媛県 男性 約10~15人
女性 約20~30人

がん・生殖医療

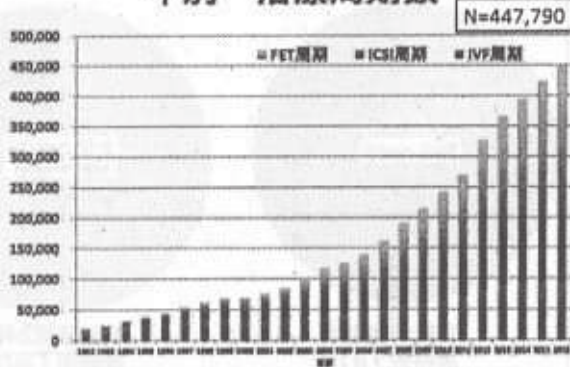
Assisted Reproductive Technology: ARTの発展

- | | |
|--|--|
| 1978 世界初 ヒトのIVF-ETで妊娠・分娩 (イギリス) | Stepoto & Edwards |
| 1983 日本でIVF-ETによる妊娠・分娩
胚凍結後移植による妊娠・分娩 | 鈴木雅洲ほか
Trounson et al. |
| 1984 GnRH agonistを卵巣刺激に応用 | Porter et al. |
| 1988 MESAで獲得した精巣上体精子による妊娠・分娩
SUZIによる妊娠・分娩 | Patrizio et al.
Ng et al. |
| 1990 胚ガラス化凍結後移植による妊娠・分娩 | Gordts et al. |
| 1992 ICSIによる妊娠・分娩 | Palermo et al. |
| 1995 TESEで獲得した精巣精子による妊娠・分娩 | Devroey et al. |
| 1998 GnRH antagonistを卵巣刺激に応用
胚盤胞培養法の確立 | Itskovitz-Eldor et al.
Gardner et al. |
| 1999 ガラス化凍結卵子による妊娠 | Kuleshiva et al. |

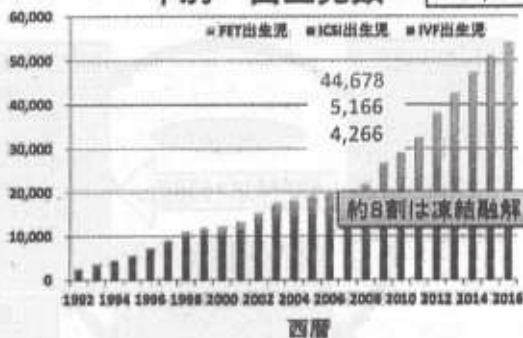
卵巣組織凍結

1997年~ベルギーのDonnezらは、悪性腫瘍患者の妊孕性温存のための卵巣組織凍結保存を開始
2004年 ホジキン病完全寛解後に凍結していた卵巣を移植し自然妊娠 生児獲得

年別 治療周期数



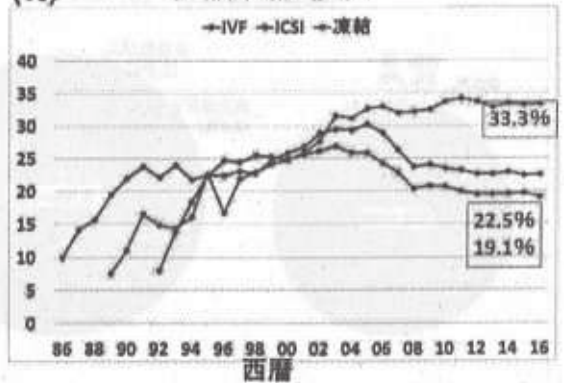
年別 出生児数



2016年の出生数は初の100万人割れで97万6979人

18人に1人が体外受精によって誕生している

妊娠率(胚移植)



胚・配偶子・性腺の凍結保存技術

- **受精卵・胚(桑実胚～胚盤胞)** → 配偶者存在
最も一般的 成績良好 ガラス化凍結法(生存率96%)
- **精子**
液体窒素蒸気凍結法 高度分野での膨大なデータ、実績以前からAIDなど行われている
- **精巣**
液体窒素蒸気凍結法 受精率70% TESEによる妊娠出産例あり
- **卵子(未受精)**
ガラス化凍結法(近年の技術向上により生存率50%) 出産率は10% 本邦ではあまり行われていない
- **卵巣**
未だ研究段階 海外では妊娠出産例多数あり 細切し腹膜に移植がん細胞が混入し再発の原因となる可能性が懸念される



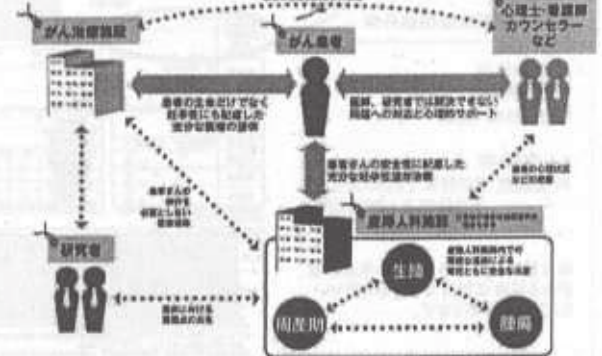
がん治療と妊娠



2013年～ 日本がん・生殖医療研究会
2016年～ 日本がん・生殖医療学会

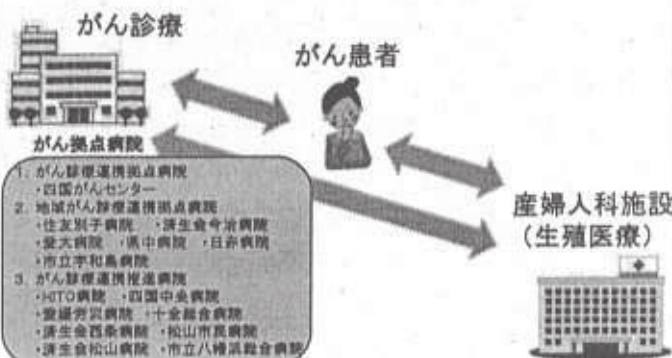
<http://www.j-sfp.org>

JSFPが考える、地域におけるがん・生殖医療ネットワークの医療

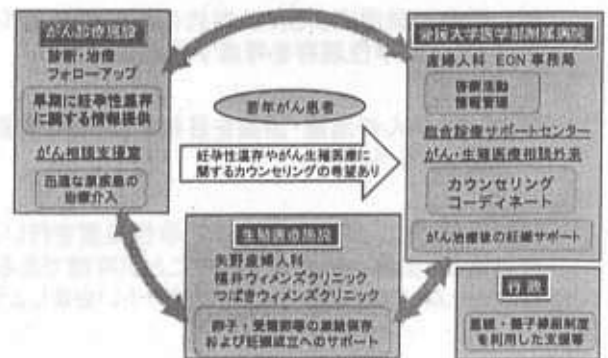


<http://www.j-sfp.org>

愛媛県下のがん・生殖医療ネットワーク

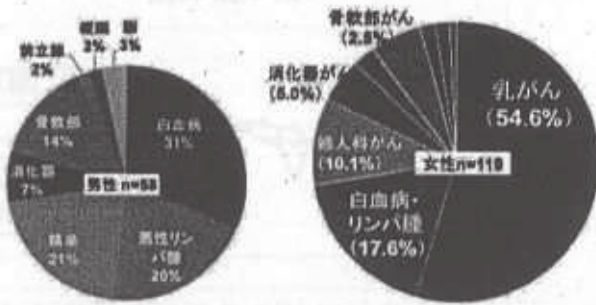


愛媛県がん生殖医療ネットワーク Ehime Oncofertility Network (EON)



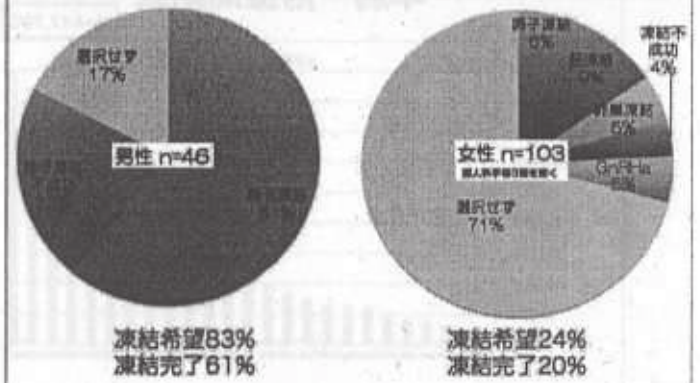
先行ネットワークの動向-がん種別-

(岐阜県 2013年~2017年)



岐阜大学病院がん・生殖医療相談後の妊孕性温存選択動向

2013年2月~2016年11月13日



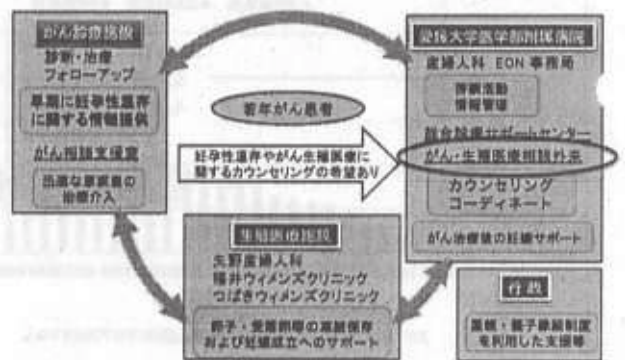
がん治療と妊孕性の問題について十分な情報提供の障壁

岐阜県がん・生殖医療ネットワークアンケート(2013)

がん治療の現状	生殖医療の現状(多くは診療所)では
生殖医療に関する技術、倫理、社会的背景のフォローは困難	長期保管における安全性、継続性の問題
自施設に生殖医療専門医が不在	がん患者の特有のリスクや合併症の不安(原疾患の専門医との連携)
紹介可能な生殖医療施設の情報不足	精子保存における技術的確立の問題
治療までに十分な時間的余裕がない	倫理的問題の不安
がん患者の妊孕性について最新の情報を十分に説明する余裕がない。	
妊孕性温存に伴うがん治療の遅れ、合併症(OHSS,出血等)、非卵誘発などへの不安	
カウンセリング内容、温存の適応などに関するコンセンサスがない	

→ 双方がそれぞれ問題や不安を抱えている

がん・生殖医療相談外来にご相談ください



他院よりご相談いただく場合

産婦人科
がん・生殖医療相談外来

毎週金曜日
午後2時~
担当: 杉山・安岡

1人30分
料金設定: 60分まで5000円
60分以上10000円

※自費診療のため、他科の保険診療がある場合は別日で予約をお取りいただく必要があります。

岐阜大学医学部附属病院 (岐阜県岐阜市)

FAX 紹介・セカンドオピニオンと
同じとお考えください。
同様の予約、受診方法です。

病院HPよりダウンロード

ご紹介いただく際のご留意事項

- がん治療施設からの情報が、遅延なく妊孕性温存処置を行うにあたって重要です。
- 特に治療スケジュールや内容について、できるだけ詳しくご教示ください。
 - >手術の日程、主治医、担当医の先生の緊急連絡先
 - >抗がん剤投与スケジュール、薬剤名
 - >放射線の日程、照射部位
 - etc.
- 採卵ができるまでに2週間から4週間以上かかります。
- 場合によっては治療開始が遅れるのも許容できるか、という点についても患者さんにお伝えいただければ幸いです。
- 治療のスケジュールによっては採卵と凍結保存ができないこともあります。

まとめ

- がん診療の発展によるAYA世代のがんサバイバーが増加し、妊孕性温存を考慮する必要がある
- あくまでもがんの治療・治癒を目指すことが、最優先に考えられるべき
- 状況次第では、がん治療前の妊孕性処置を行い、将来の妊娠・出産への希望を残すことが可能であるため、チーム EONで連携して、サポートいきましょう!

AYA世代がん患者に対する 当院の取り組み



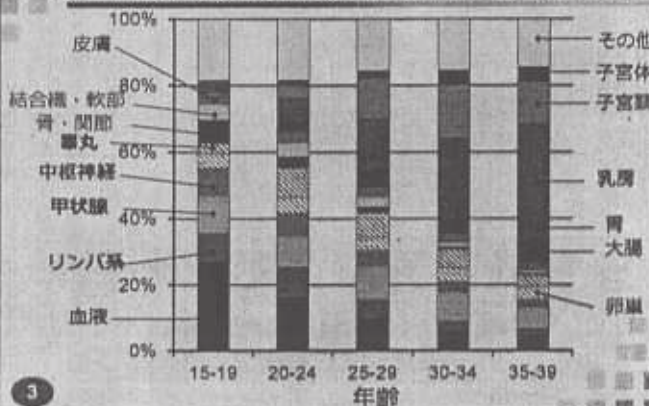
愛媛県立中央病院
小児医療センター
石田也寸志



日時：平成31年1月19日
場所：ANAクラウンプラザホテル松山

AYA がん原発部位別頻度

専攻科別 総合的なAYA世代のがん対策のあり方に関する研究(個別誌) 結果に基づく、2015年最新データ

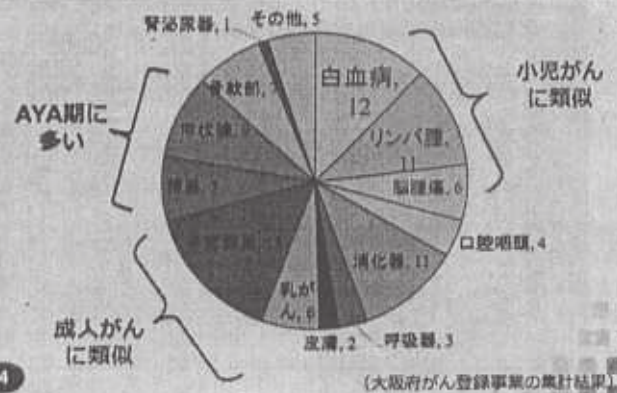


本日の講演内容

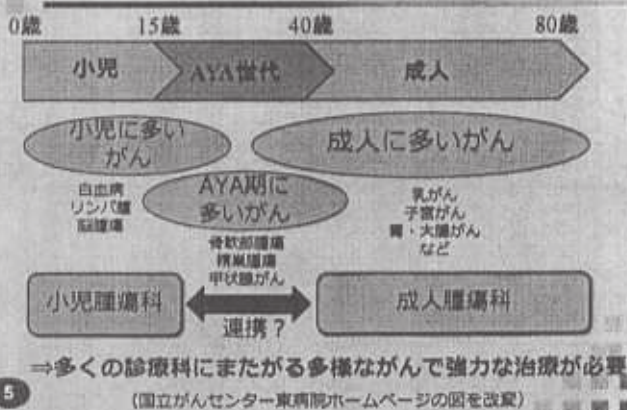
AYA(Adolescent and Young Adult)

1. AYA世代のがんの疫学
2. 晩期合併症-小児がんの経験から
3. 長期フォローアップの必要性
4. 長期フォローアップ支援ツール
5. 成人診療科への移行
6. AYA世代がんの当院の取り組み

AYA世代のがんの種類

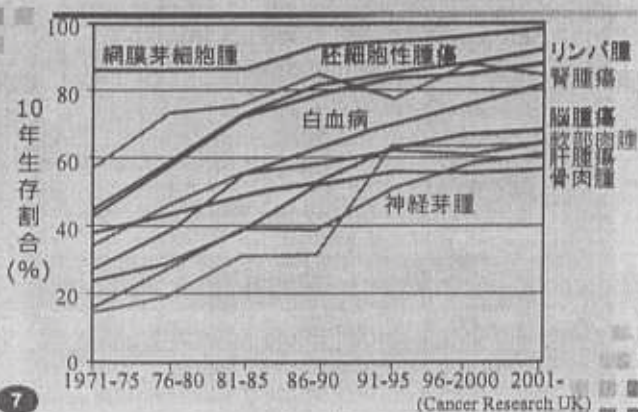


AYA世代のがん診療



小児がんの話

小児がん治療成績の向上



治療終了後に遅れて出てくる合併症

- がんの治療を終了して、治癒したとみられる症例の中に、がん自体またはその治療の直接的または間接的な影響によって生じたと考えられる合併症がみられることがあり、これを「Late effects(晩期合併症)」と呼ぶ。

- 晩期合併症の多くは、抗がん剤の種類と総投与量、さらに放射線の照射部位と総量に関係するので、治療の効果や再発リスク、将来予測される合併症などを天秤にかけながら、慎重に治療を進めるが、まだ不明の点が多い。

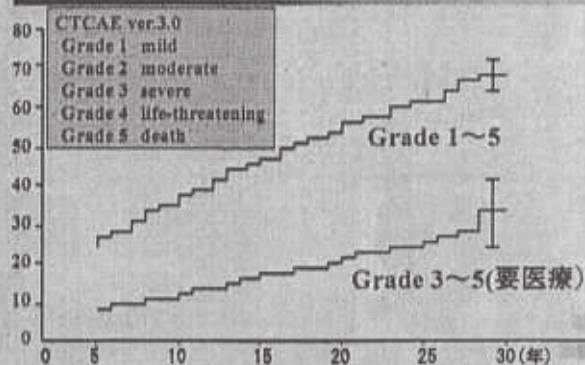


小児・AYAがんの晩期合併症

成長・発達への影響 身長伸び 骨格 筋・軟部組織 知能・認知力 心理的・社会的成熟 性的成熟	臓器機能への影響 心臓 呼吸器 腎臓 内分泌臓器 消化管臓器 視力・聴力
生殖機能への影響 妊娠可能か 子孫への影響	二次がん 良性腫瘍 悪性腫瘍

(by Bhatia S & Hudson MM)

晩期合併症の累積発症率 (CCSS: Childhood Cancer Survivor Study)



(Oeffinger et al; N Engl J Med 355: 1572-1582, 2006)

なぜ長期フォローが必要なのか?

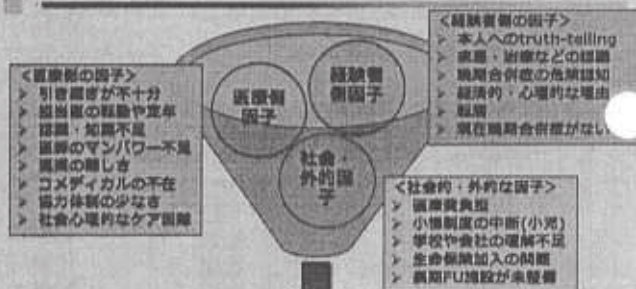
がんの治療を目指して、成長・発育盛りの小児期に毒性の可能性のある治療をしたため

小児・AYA期に発病した経験者にとって、人生の大きなイベントである就労、結婚・出産などは未知、将来の体験であり、支援が必要

- ◆晩期合併症の早期発見と治療
- ◆教育・就労に関する相談
- ◆妊娠・出産に関する相談
- ◆心理・社会的なサポート
- ◆健康の維持・教育
- ◆包括的なヘルスカア

➡ 医療経済的にもメリット！?

長期FUが途絶える理由



最適な長期FUが可能
(リスクに基づくケア)

長期FU支援ツール(小児がん)

1. 晩期合併症の情報整理 (海外の書籍やガイドラインの日本語への翻訳・監訳)、
2. 治療のまとめ(サマリー)の全国標準化・活用・入力支援、
3. フォローアップ手帳の作成・活用、改訂、
4. 本邦独自の長期FUガイドラインの作成、
5. 長期FUの必要性を患児家族に説明する教育ツール

(JCCGの長期フォローアップ委員会)

小児がんガイドライン

小児がん治療後の
長期フォローアップ
ガイドライン

現在改訂中

医業ジャーナル社
B5判 356頁
5,800円

小児がん治療後の
長期フォローアップガイドライン

移植ガイドライン

造血細胞移植学会
ガイドライン(第4巻)
移植後長期フォローアップ
ガイドライン

造血細胞移植学会
ガイドライン

医業ジャーナル社
B5判 141頁
4,200円

CHILDREN'S ONCOLOGY GROUP The world's leading source of experts

Long-Term Follow-Up Guidelines

Version 5.0 - October 2018

治療サマリー

治療のまとめ

患者基本情報

プロトコール概要

抗がん剤の総蓄積量

手術関連情報

輸血関連情報
その他の治療

放射線療法情報

造血幹細胞移植情報

既知の晩期合併症

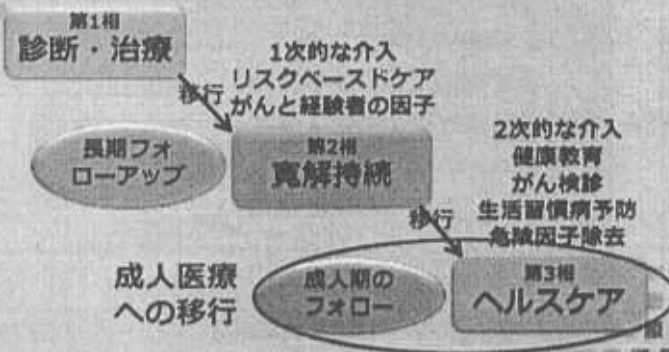
今後のフォロー
アッププラン

フォローアップ健康手帳の作成



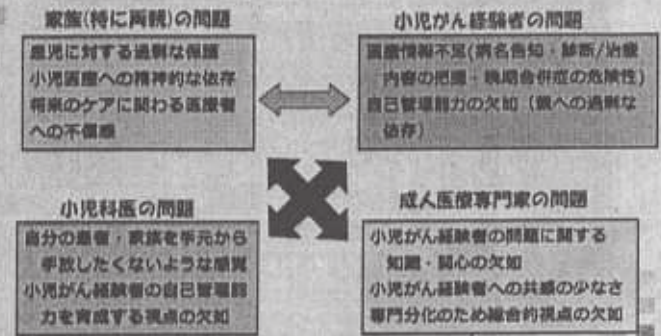
1. 小児がん経験者・家族が所有
2. ハンディタイプ
手帳タイプvsファイルタイプ
3. 外来受診時の記録を残す
4. 他院受診時の参考
5. 健康維持・管理
記録のアップデート(生活歴・
家族歴・予防接種・発育・
成長など)

移行(Transition)



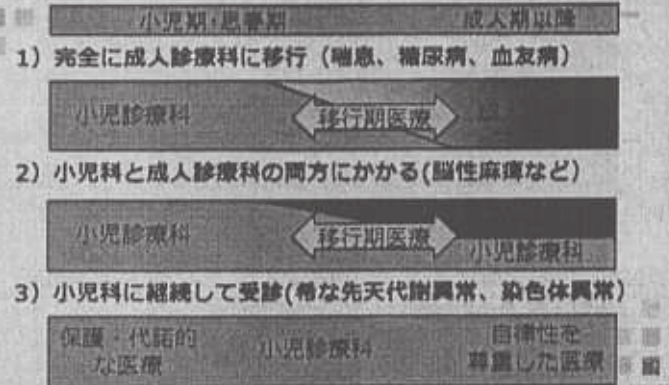
19

小児がんの成人移行の問題点



20

移行期医療の概念図



21

(小児科学会の提言から)

移行に関する小児がんの特徴

- 原疾患(がん)に対する治療は終了
原疾患は治癒、多くは晩期合併症対策
- 晩期合併症のリスクはある程度予想可能
治療サマリー、長期FU手帳などの保持
予想できなかった場合にコンサルト可能な体制
- 幼少発症の問題
病名告知、リスク情報の周知、社会性、自己管理の自覚
- 成人期になって新たに出現するリスク
生活習慣病、二次がん、成人がんの治療など

22

成人移行に必要なこと

- ① 大人になろうとしている彼等に必要な医療的ケアは、技術的に小児医療の枠を超えたものであることをはっきり説明する。
- ② 本人/家族と原疾患の情報・治療内容・合併症などの治療サマリーも次の医療チームに移譲することを話し合う。
- ③ それまでの医療チームと新しい医療チームとの連携が保たれることを強調する。
- ④ 本人/家族からの情報がケアの鍵として最も重要であることに重点を置いた説明をする。
- ⑤ “自分の身は自分で守る”という自覚が最も重要であることを理解してもらう。
- ⑥ 小児科医は患者離れを上手に行いながらも、常に様々な問題の相談者として小児がん経験者を陰ながら支える。

23

小児・AYA世代のがんの長期フォローアップ研修会(第1回) 一般社団法人 日本小児がん協会 がん予防センター

2018年度
小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会
LCAS - Lifetime Care and Support for Child, Adolescent and Young Adult Cancer Survivors

開催にあたって
小児・AYA世代のがんは十分に治療を期待できる時代に育ちましたが、治療終了後の経過については医療者の間でさえまだ十分な認識が得られていません。このたび、小児・AYA世代(思春期・若年成人)のがんの長期フォローアップと小児から成人への移行期医療の重要性を、医師・看護師および関係職種の方々に認識していただくために、厚生労働省の委託事業の一環として研修会を開催することになりました。皆様のご参加をお待ちしています。

第1回 2018年7月7日(土) 7日(日) 名古屋会場 名古屋学院大学

第2回 2018年9月29日(土) 30日(日) 福岡会場 九州大学病院

第3回 2018年12月1日(土) 2日(日) 東京会場 キャンパスイノベーションセンター東京

第4回 2019年2月23日(土) 24日(日) 大阪会場 会場未定

AYA世代がん患者に対する 当院の取り組み

当院のAYA支援WG

Mission

がん診療拠点病院の整備要綱の「AYA世代にあるがん患者については治療、就学、就労、生殖機能等に関する状況や希望について確認し、必要に応じて、対応できる医療機関やがん相談支援センターを紹介すること。」に関して、当院において検討する。

コアメンバー

- 医師（血液腫瘍科、乳腺外科、産婦人科、泌尿器科、脳外科、頭頸部外科、小児科）
- 看護師（がん患者相談窓口、外来化学療法）
- ソーシャルワーカー（地域連携）

当院の2018年度活動

1. AYA支援ワーキンググループ
 - ・メンバーの選定、第1回（2018年8月）、第2回（来週）
 - ・現場の医療・社会支援に主眼
 - ・AYAがん患者の捕捉－スクリーニングシートの作成
2. AYAがんの問題に関する院内職員への啓発
 - ・2018年9月 地域連携懇話会で話題提供
 - ・2018年12月 キャンサーボードで18歳脳腫瘍症例検討
 - ・2019年1月 AYA世代がんネットワークセミナー
3. 妊孕性温存に関して
 - ・2018年7月愛媛県がん・生殖医療ネットワーク協議会開催
4. 院外連携
 - ・四国がんセンターとの交流・連携－ネットワークセミナー
 - ・おれんじの会でのAYAがん患者サポート協力依頼

今後の活動目標と課題

- ① 院内のAYA世代がん患者に関する支援体制確立
 - ①-1. AYA世代がん患者に関する啓発活動
 - ①-2. 院内のAYAがんサポート体制強化
- ② 愛媛県がん・生殖医療ネットワークへの協力
- ③ 院外との支援ネットワーク構築
 - ③-1. おれんじの会でのAYAがん患者サポートとの協力（EAYAN:若年がん患者気軽に集う場）
 - ③-2. 四国がんセンターとの交流開始
- ④ 愛媛県のAYAがん患者の課題抽出－行政との協議

支援団体

「AYA世代のがん」支援団体



Take Home Message

1. AYA世代のがんはまれで多様
2. AYAがんの治療体制－連携が必要
3. 長期フォローアップの重要性
4. ピアとの出会いと包括的ケアの提供
5. 地域ネットワークの重要性